（別紙4）　　平成　25　年度

# 1　自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業所番号 | 2775004837 | | |
| 法人名 | メディカル・ケア・サービス株式会社 | | |
| 事業所名 | 愛の家グループホーム東大阪加納　（太陽） | | |
| 所在地 | 大阪府東大阪市加納1-4-35 | | |
| 自己評価作成日 | 平成25年3月22日 | 評価結果市町村受理日 | 平成25年7月19日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

| | |
|---|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaigokensaku.jp/27/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyosyoCd=2775004837-00&PrefCd=27&VersionCd=022 |

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | |
|---|---|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人　市民生活総合サポートセンター |
| 所在地 | 〒530－0041　大阪市北区天神橋2丁目4番17号　千代田第1ビル |
| 訪問調査日 | 平成25年　4月　26日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

普通の生活を当たり前にして頂くため、スタッフは何が普通で何が普通ではないかを考え、行動しています。この普通の生活と認知症に関する研修を隔週で実施し、スタッフの意識とスキルを高めております。ご入居者様が生活をされていた時代の雰囲気をフロアに出せるようなレイアウトも取り入れ、より落ち着いた環境の中で生活頂ける様に工夫しています。（現在も進行中）
グループホームらしく、ご入居者様には出来る事は何でもして頂き、ADLの維持・向上に努めております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

当該事業所では、法人の理念にそって利用者がその人らしい生活が出来る事を支え、地域の人々との触れ合いを大切にする事に力を発揮しています。今年度は特に地域への関わりを心がけ、職員の発案から管理者は幼稚園へ交流依頼を働き掛け敬老会への招待があったり、また納涼際の企画が実現し多くの参加を得るなど、地域への理解を深めています。職員は様々な委員会に所属し提案でき、事業所新聞の発行で家族や地域に事業所を知ってもらったり、利用者の思いを聞き取りその声が叶うようにボードに書き込み利用者の思いの実現に努めるなど、提案の実現がなされています。また、満足度調査の実施でも家族の声を収集するなかで「分からない」と言う声を重要視し、職員の利用者や家族の思いが見える力や伝える努力を大切に考え実践に繋げています。

## Ｖ．サービスの成果に関する項目（アウトカム項目）　※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| | 項　目 | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 | |
|---|---|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>（参考項目：23,24,25） | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいの<br>3. 利用者の1/3くらいの<br>4. ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>（参考項目：18,38） | ○ | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>（参考項目：38） | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>（参考項目：36,37） | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>（参考項目：49） | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>（参考項目：30,31） | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>（参考項目：28） | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない |

| | 項　目 | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 | |
|---|---|---|---|
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>（参考項目：9,10,19） | ○ | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>（参考項目：2,20） | ○ | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>（参考項目：4） | ○ | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない |
| 66 | 職員は、活き活きと働けている<br>（参考項目：11,12） | ○ | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |

# 自己評価および外部評価結果

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| **Ⅰ.理念に基づく運営** | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 運営理念を掲げ、全職員が周知・認識し実践に向け日々努力している。 | 法人は運営理念と共に日々の支援ルールを定め、事業所では日々唱和し普通の生活を当たり前に過ごしてもらう事を大切にしています。職員は月々自身の支援目標を持ち、利用者のその人らしい生活を支える為の支援に取り組んでいます。職員会議には目標の達成状況を話し合い互いに確認しています。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 行事や医療機関関係では地域のつながりが持てているが、日常的な地域交流は現在図れていない。 | 自治会に加入し、情報を得て地域の行事に参加したりボランティアの来訪があります。地域の祭りには、神輿や獅子舞が玄関先で舞ってくれたり、回覧板で事業所の存在をアピールする機会を持っています。幼稚園の園長との話し合いの中で子どもたちの関わりが実現する等、地域の一員としての取り組みを一歩づつ進めています。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 入居相談はもちろん、認知症やグループホーム自体への認識を深めていただけるよう問い合わせ、相談にはその都度対応し、見学も積極的に受け入れている。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議は概ね2ヶ月に1度、実施しておりホーム内の報告を主としている。また、会議出席者からの質疑応答では、家族様の負担や不安を理解し、サポートしていけるよう話し合いを行っている。 | 運営推進会議には地域の4グループホームが互いに参加し合い、地域が一体となって認知症への理解に向けた体制が整えられつつあります。出された意見は職員間で検討し、生活への要望は支援に繋げ、職員の入れ代り等も伝え理解を得るようにしています。家族参加が少なく今後の課題と考えられています。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 不明点やホーム内の情報伝達は出来る限り電話や窓口で直接行い指導を受けている。また、地域会議等の参加にて連携を計っている。 | 市の窓口に出掛けたり電話で問い合わせる機会は多く、聞きたい事などがあれば気軽に連絡を取り関わりを大切にしています。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束については、常にスタッフ同士で拘束に値しないか話し合い、利用者様の中核・周辺症状の変化に留意しながら、ユニット間を自由に行き来できるように取り組んでいる。 | 法人の身体拘束についての研修があり全職員の受講を促すと共に、気づいたことなどがあれば随時勉強機会を作り話し合っています。玄関は施錠していますが、各階の入り口は開放して利用者は自由に行き来しています。外に出たい様子の利用者には、意向を聞き出かけたり、ベランダや庭に出るなど利用者の思いに寄り添っています。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている | 介護スタッフ参加にて、会社の他ホームと合同で研修会やホーム勉強会を実施している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 学ぶべき重要な事柄であるが、現状では全職員対象には実施できていない。理解が必要なことであるので、今後取り組みを行う必要がある。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 十分に説明を行っている。 | | |
| 10 | （6） | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 主に運営推進会議にて要望や意見を伺っているが、日常においても家族様とのコミュニケーションを密にとり、要望を伺いやすい環境作りをしている。 | 職員は家族の来訪時に、利用者の様子を伝えると共に必ず意見を聞くようにしています。法人による家族の満足度アンケートが実施され、職員の接遇など出された意見は改善点と共にその結果を全家族に伝えています。 | |
| 11 | （7） | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 毎月実施しているユニット会議にて各スタッフの意見や提案について話し合う場としている。 | 年に1度管理者による面談を行い、意見を聞く機会となっています。また個別にも意見や提案があれば会議や随時に意見を聞いています。委員会制の導入の中から、幼児の交流や事業所新聞等の提案が具体化されています。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 各自スタッフが向上心を持って働くことが出来るよう、職場環境・条件の整備に努めている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 本社での社内研修も定期的に実施されているが、関西エリア内においても定期的に勉強会の開催を計画している。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 会合や研修には出来る限りホーム内の役職に関わらず、関係するものが優先的に参加するよう　指示しており、ホームへ持ち帰り実践を目指している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| **Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援** | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入所当初は環境の変化が大きいことから、精神的支えを一番に考え、不安や要望を出来る限り聞き取るよう努力している。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 入所前に家族様からの相談や要望を引き出せるよう、アセスメント等の時間を確保している。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | グループホーム内でできうる限りのサービスの提供・支援を心掛けている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 共に支えあえる関係・環境作りを目指し心掛けているものの、信頼関係の形成は常に取り組むべき事柄である。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 本人様と家族様の関係は特に大切であると考え、関係を支えている。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 馴染みの場所や人との交流は、関係が途切れないよう家族様にも協力いただきながら支援している。 | 友人知人の来訪も多く、時には会話が弾むように支援するなど気軽に訪ねてもらえるようにしています。行き慣れた喫茶店や美容院、スーパー、馴染の神社参りなどの支援で今迄の生活や習慣の継続を心がけています。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 利用者様同士の関係は職員が上手く介入することで支えあえる雰囲気を心掛け、またトラブルが回避できるよう努めている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | その都度対応している。 | | |
| **Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント** | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 家族様に情報をいただくことも多いが、本人様との日常の会話や仕草から観察・推測し、各利用者様の希望や意向を引き出せるよう心掛けている。 | 入居時に聞き取った家族や利用していた事業所からの情報を、アセスメントに記録し、職員間で検討する中で意向の把握に繋げています。また、日々の関わりの中で気づきや発言などをリーダーを中心に収集し、利用者の思いを知り本人本位に検討しています。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入所以前の生活歴やサービスの利用については、アセスメントにて出来る限り情報を収集し把握に努めている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 日常の使用者様の様子から情報を把握するだけでなく、申し送りやモニタリングから現状を把握するよう努めている。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 計画担当者会議やカンファレンスの中で個別に検討し、家族様へも出来る限りの相談・提案し協力いただきながら作成している。 | 介護計画は、利用者の思いや家族の意向をもとにサービス担当者会議を開き作成しています。毎週計画に沿ったモニタリングを行い、3ヶ月ごとに見直しを図り、変化が無ければ6ヶ月毎に再アセスメントを行い見直しています。医療的な意見は家族を通じて医師からの情報をもとに反映しています。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | モニタリングや介護記録にて日々の様子や変化、実施状況を記録し、見直しに役立てている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 様々なニーズを聞き取り実施できるよう、ホーム内外で対応できる環境作りの構築に取り組んでいる。 | | |

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 現在地域資源のを活かした暮らしが出来るよう見当を進めている最中。積極的な地域交流によって、生活に生きがいを持てるよう取り組みたい。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 各利用者様が適切に医療を受けられるよう支援している。 | 契約時には従前のかかりつけ医の継続が可能である事を伝え、継続されたかかりつけ医の往診もあります。協力医の往診は月に2回あり、緊急時にはどの医師も夜間にかけての連絡が可能で、訪問看護とも連携の上適切な医療となるように努めています。 | |
| 31 | | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 日常生活の中で得た情報や気付きは看護職へも適切に申し送りできるよう、連携記録を活用し適切な受診や看護が受けれるよう支援している。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時は出来る限り家族様のサポートを行い、相談はもちろん情報の共有に努めている。受け入れが困難な状態でも、医療連携室との連携を計り受け入れ可能な病院を探し対応している。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 重度化した場合については、入居相談や契約時に説明を行い、その後状況が変化するたびに事業所の出来ることを説明し、家族様に協力いただきながら出来る限り地域で支えられるよう取り組んでいる。 | 契約時に法人の看取り指針にそって説明しています。利用者が重度化する中で出来る事や出来ないことなどを伝えて、医師と家族の話し合い、地域の医師や病院との連携の中で看取りの支援を行った事もあります。看取りケアについての研修を行い、適切なケアができ、職員が不安にならないように努め対応しています。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 緊急時の対応マニュアルをスタッフは周知しており、カンファレンスや会議でも話し合いを持っている。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 避難訓練の実施の際に、地域住民の参加要請を検討している。また、火災については避難体制が徹底できているが地震・水害においては課題がある。 | 年２回避難訓練を毎回昼夜想定で行っており、消防署には写真付きで報告をしています。消火器を使ったり、通報訓練等習熟できるように努めています。運営推進会議では事前に訓練を伝え、避難場所の確認等アドバイスをもらい、AEDの利用など課題を見つけています。 | |

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| **Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援** | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 各利用者様の人格を尊重し、誇りや　プライバシーを損ねない言葉かけと環境作りを徹底している。 | 法人のプライバシーについての研修があり新人はじめ職員は受講し、日々支援する中で気づいた事は管理者から伝えています。利用者を尊重した対応や、職員の私語はしないように伝え、日常的に丁寧な言葉使いを心がけています。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 日常生活の中で自己決定の場面を出来るだけ作れるよう声かけすることを心掛けている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 職員側の決まりや都合は優先せず、各利用者様の希望を尊重した生活の支援を行っている。（例えば・・希望があれば突然外出に出向いたり） | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 各利用者様の個性を理解して、支援ができている。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事の準備や片付けは職員で行うことが多いが、出来る事は環境や条件を整えてお願いしている。 | 調理担当者が法人の献立表をもとに食事作りをしています。嫌いなものは代替食にしたり、畑の収穫物も食卓に上り、おやつは日々手作りされ、職員と共に食卓を囲み会話を楽しんでいます。利用には出来るだけ関わってもらい、食事作りを最初から最後まで一緒にする方もあります。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 特に水分に関しては、飲み物を変える等して工夫して摂取していただけている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 朝・夕の口腔ケア支援は徹底して出来ているが、昼食後のケアは必要者のみとなっている。皆様に対して実施できるよう話し合いの場を確保している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 個々の状態は常に変化しているが、観察や状態把握に努め、維持・向上できるよう常に試行錯誤しながら支援している。 | トイレでの排泄を基本と考え排泄チェック表に基づいて其々に応じた支援をしています。腹圧を掛け残尿感を無くすよう支援する中で、頻回な誘導や失敗が少なくなったり、紙パンツから布の下着とパッドに変更される利用者もおり、皮膚状態が改善するなどの変化もあります。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 往診医・看護師への相談・報告を繰り返しながら、個々に応じた予防に取り組んでいる。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 職員の都合で曜日・時間を決めず、個人の体調に合わせて最低週2～3回は入浴していただけるよう支援している。 | 個々の希望に合わせて入浴をしてもらっています。午後から夜間の希望にも対応しつつ、毎回湯を変え入浴剤など好みや要望を聞き支援しています。季節にはゆずや菖蒲湯を楽しんでいます。拒否される利用者にはその原因を追及すると共に職員との信頼関係の中で入浴に繋がった事例もあり、今では拒否の方は居られません。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 状況に応じて支援している。 | | |
| 47 | | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 服薬の支援の徹底と共に、症状の観察・報告に努めている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 各利用者様に応じて支援できている。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 支援できるよう心掛け、工夫している。 | 買い物や散歩に出掛けています。時には曜日を決めて、積極的に外出機会を作っています。季節毎に、梅や桜、紅葉等を見に行く計画を企画し、時には家族を誘い一緒に出掛けています。また個別の外出支援も行っており、喫茶店やドライブなど希望に応じています。 | |

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 各利用者様の希望や能力に応じて支援している。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 支援できている。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 取り組んでいるが、今後においても常に工夫・改善が必要な事柄であるし、出来る事もまだまだ多くある。 | 利用者と一緒に行う日々の掃除で清潔な住まいを心がけています。加湿器の利用や窓の開閉など温湿度に配慮し、活け花や飾り付けで季節を感じられるようにしています。畳コーナーでは卓袱台など懐かしい家具などの利用でゆっくりとした時間を感じてもらえるように設定をしています。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 各利用者さまに応じて何事にも無理強いせず工夫している。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 基本的に今まで使い慣れた馴染みのあるものを活かした居室作りを心掛けている。 | 入居に当たっては家族が中心になって居室の設えをしてもらい、使い慣れたものを持参してもらうようにしています。希望によって畳の部屋にしたり、使い慣れた家具で安心感を得ています。家族の写真や、かつて使われていた椅子やテーブルなど利用者にとって落ち着かれる設えがなされています。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 安全な環境作りに努め、その中で個々が自立を意識した生活を送れるよう工夫している。 | | |